



ジェコス株式会社

2023年3月期 第2四半期

決算説明会

2022年10月28日

1	2023年3月期 第2四半期決算概要	3
2	2023年3月期業績予想	9
3	中期経営計画の取り組み ～トピックス～	17
4	APPENDIX	31

1

2023年3月期 第2四半期決算概要

2023年3月期 第2四半期決算概要

前年同期比、当初予想比ともに増収減益

(百万円)	22年3月期 上期実績	23年3月期 上期実績	増減額	前年同期比 (%)	当初予想 (2022.4.26公表)	当初予想比 (%)
売上高	50,276	54,575	+4,299	+8.6%	53,200	+2.6%
売上総利益	9,024	9,125	+101	+1.1%	—	
営業利益	1,953	1,601	▲352	▲18.0%	1,850	▲13.5%
経常利益 経常利益率 (%)	2,162 4.3%	1,817 3.3%	▲345	▲16.0%	2,000	▲9.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,467	1,188	▲279	▲19.0%	1,300	▲8.6%

セグメント別実績

(百万円)	22年3月期 上期実績	23年3月期 上期実績	増減額	前年同期比 (%)	当初予想 (2022.4.26公表)	当初予想比 (%)
売上高	50,276	54,575	+4,299	+8.6%	53,200	+2.6%
重仮設事業	45,815	48,754	+2,939	+6.4%	47,400	+2.9%
建設機械事業	6,615	6,925	+310	+4.7%	7,000	▲1.1%
調整額	▲2,154	▲1,104	+1,050		▲1,200	
経常利益	2,162	1,817	▲345	▲16.0%	2,000	▲9.2%
重仮設事業	2,219	1,767	▲453	▲20.4%	1,900	▲7.0%
建設機械事業	128	202	+73	+57.4%	250	▲19.2%
調整額	▲186	▲151	+34		▲150	

重仮設事業

- 対前年度上期
流通販売物件の増加により売上増となるも、
工事・加工物件の着工遅れ等により減益

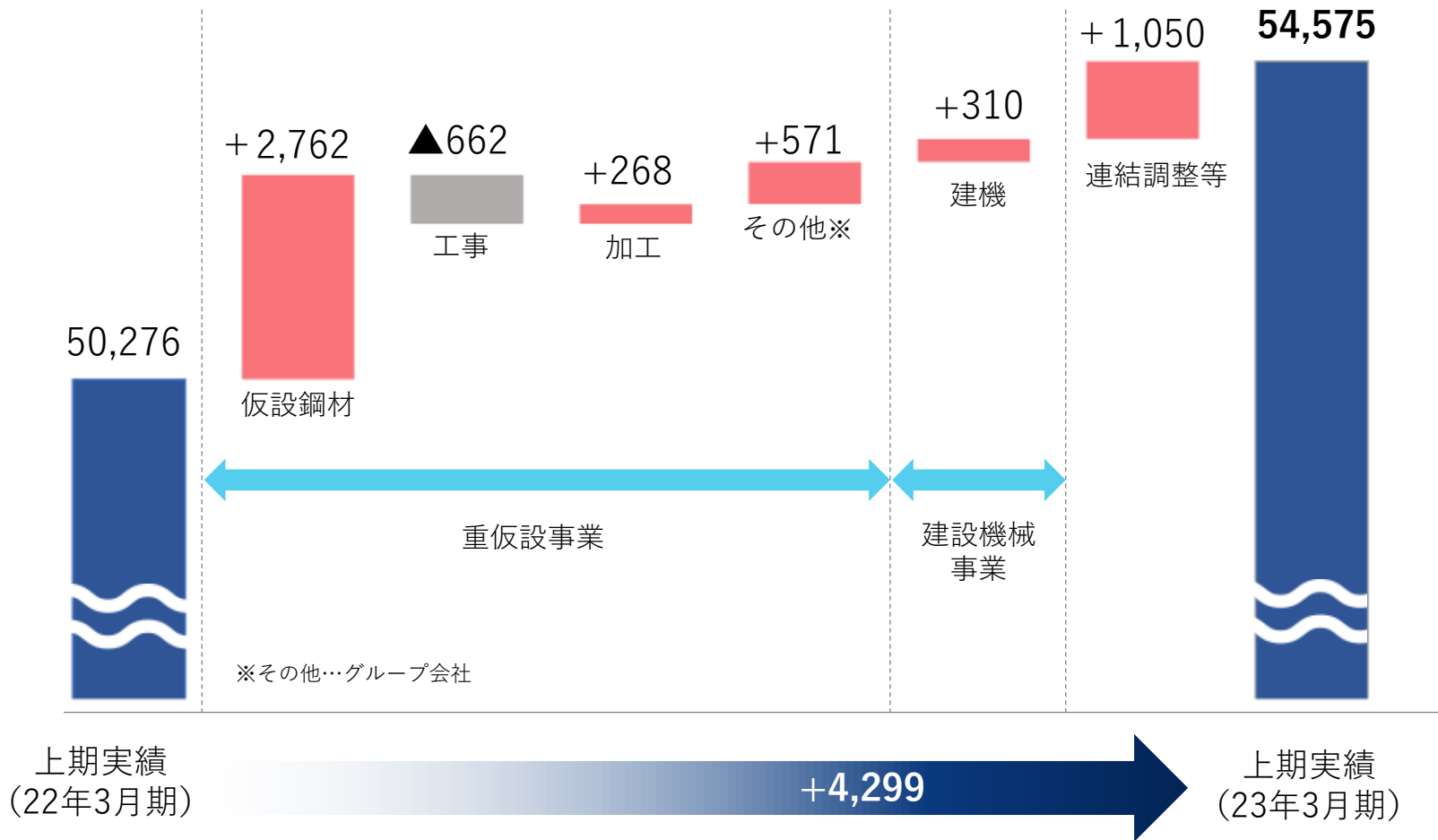
建設機械事業

- 対前年度上期
統合効果による保有機械の適正化等により
増収増益

連結売上高の増減要因（前年同期比）

工事物件の着工遅れ等による減収があったものの、合計では増収

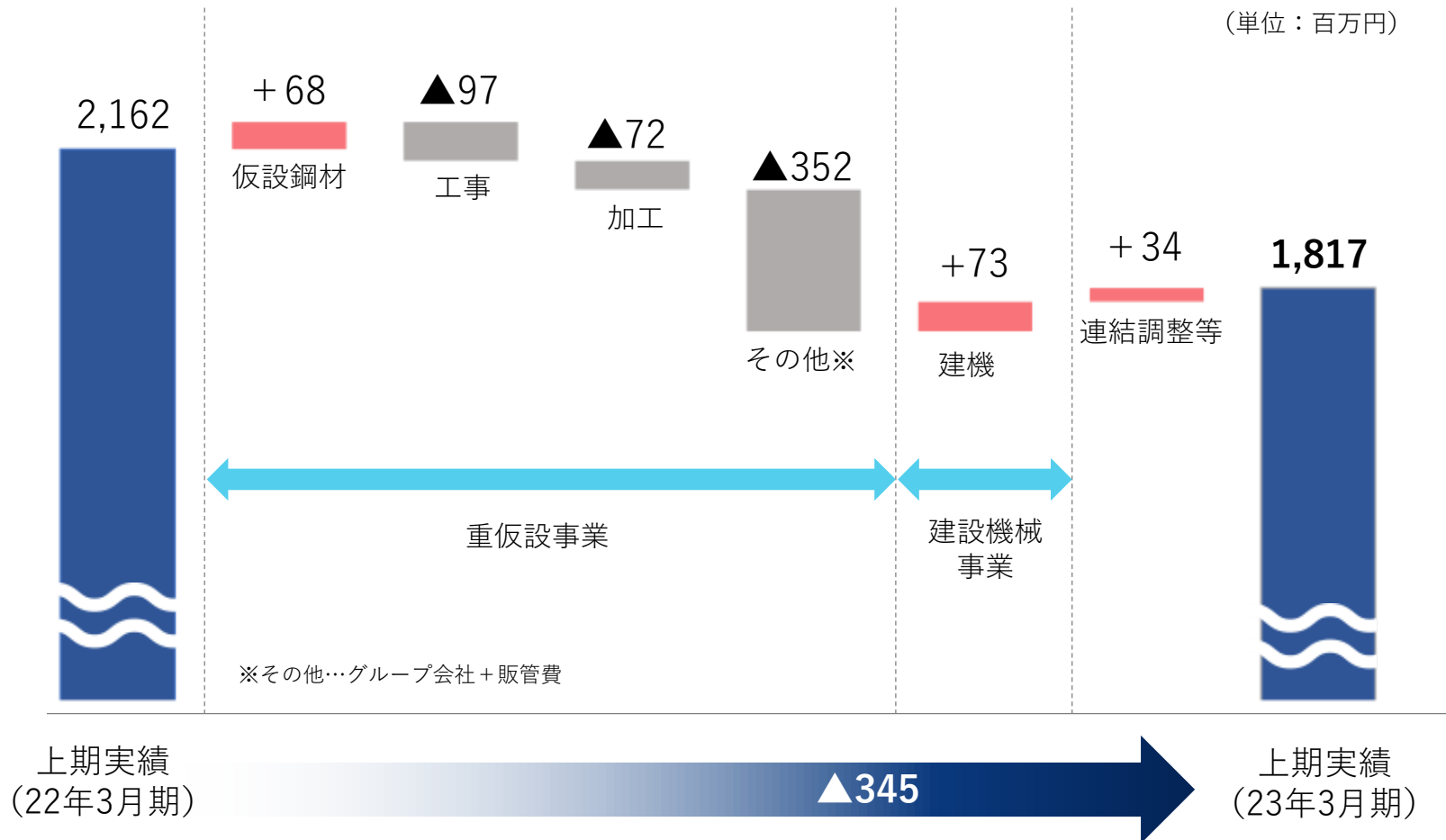
（単位：百万円）



連結経常利益の増減要因（前年同期比）

仮設鋼材・建機は増益。一方、工事・加工物件の着工遅れ、子会社取得に伴う一時的費用および活動水準の回復による費用増等があり減益

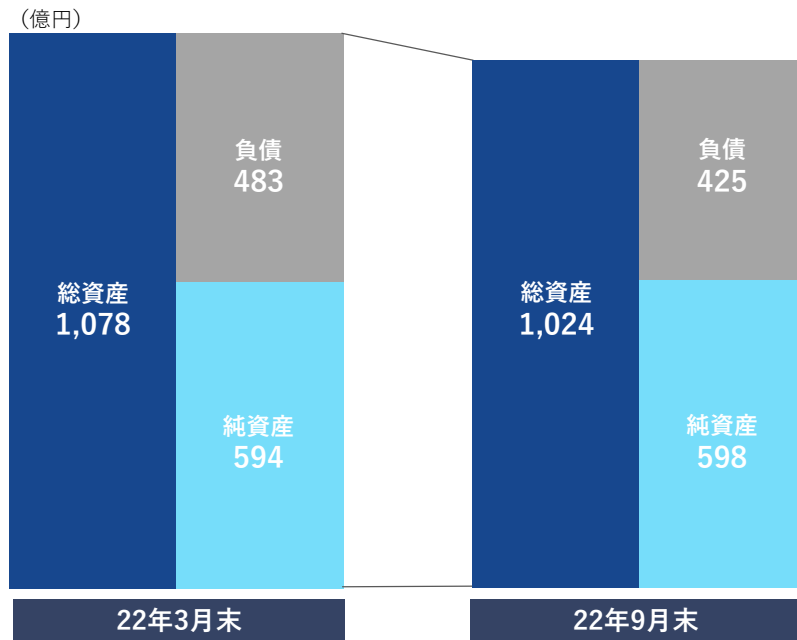
（単位：百万円）



連結貸借対照表／キャッシュ・フロー

貸借対照表

- オトワコーエイの取得による影響があるも、売掛金および棚卸資産等が減少し総資産減

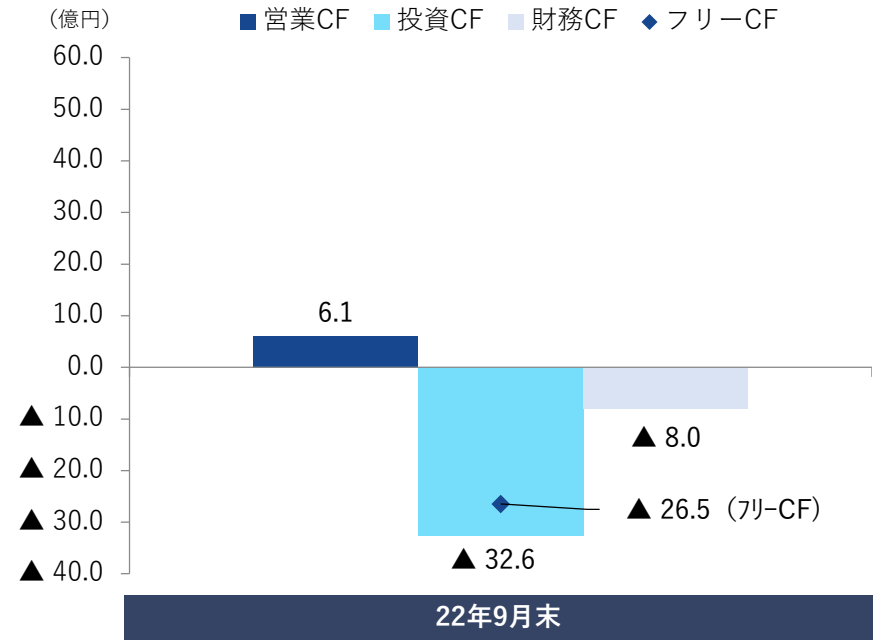


自己資本比率 **58.5%** (+ 3.3p)

D/Eレシオ **3.9%** (+ 0.3p)

キャッシュ・フロー

- 子会社株式取得による20.5億円の支出等があり、フリーCFはマイナス



2

2023年3月期業績予想

事業環境の見通し

建設投資

2022年度の建設投資額は期初計画時比+1.5兆円（内訳：民間投資+1.2兆円、政府投資+0.3兆円）となる**55.7兆円**の見通し。（除く改装・改修）

【公共工事】

2022年度の政府建設投資額は、前年比増（+0.3兆円）の21.8兆円となり堅調に推移。

【民間工事】

民間非住宅建設投資は、コロナ禍からの回復が見込まれ、設備投資の持ち直しの動きから堅調に推移し17.3兆円（2021年度比+1.1兆円）となる見込み。

ただし、都市部で案件の大型化が進む一方で中小物件の出件は鈍く、全体の案件数が少なく受注競争が激化。加えて、資材価格高騰により現場予算も逼迫しており厳しい状況が続く見込み。

当社グループ

重仮設事業においては基礎工事の少ない端境期となっている。予定物件の下期ずれ込みもあり、上期減益となるも下期より本格化を見込み、年度計画は**期初予想通り**とする。

【上期振返り】

流通販売物件の増加により売上増となるも、工事・加工予定物件の下期ずれ込み等により減益。

【下期見通し】

下期より大規模物件の着工が本格化、旺盛な需要を見込む。

在庫、工事機械の高稼働に対応する体制を整備するとともに、出件の遅れに備え既受注物件での追加工事獲得、未開拓需要の掘り起こしに取り組む。また建機事業においても保有機械の適正化等により収益向上を図る。

下期に予定する首都圏主要案件

The map shows various districts in Tokyo with callouts to project locations. Eight project preview images are numbered 1 through 8, each with a corresponding label and callout line pointing to a location on the map.

① (仮称) 中野駅西口再開発
池袋西口プロジェクト

② 板橋駅板橋口地区第一種市街地再開発

③ 小岩駅北口地区第一種市街地再開発事業

④ 南小岩6丁目3街区

⑤ 明治生命安田ビル新築工事

⑥ 内幸町一丁目街区南地区再開発事業

⑦ 日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業

⑧ 品川開発プロジェクト(第1期)4街区

Other callouts on the map include: 千代田区三番町28計画, (仮称) 御成門郵船ビル建替え計画, (仮称) 豊洲4-2街区開発計画, 豊海再開発, (仮称) 春日ビル建替計画, 三田ガーデンヒルズ, (仮称) 品川駅西口A地区新築工事, 吾妻ポンプ所発電機棟建設工事, 大井町周辺広町地区開発.

【イメージベース引用元】

- ①中野区HP
- ②東京都HP
- ③江戸川区HP
- ④2019年5月13日付け報道発表資料
- ⑤2021年8月2日付けニュースリリース
- ⑥東京都HP
- ⑦2021年12月7日付けニュースリリース
- ⑧2019年4月22日付けニュースリリース

2023年3月期業績予想

上期は予定物件の遅れ等から減収となったが、下期より予定物件の着工本格化を見込み、業績予想は当初予想を据え置く

(百万円)	22年3月期 実績		23年3月期 予想		増減		当初予想 (2022.4.26公表)	当初予想比 (%)
	上期	通期	上期	通期	上期	通期		
売上高	50,276	113,997	54,575	115,000	+4,299	+1,003	115,000	±0.0%
営業利益	1,953	4,705	1,601	4,950	▲352	+245	4,950	±0.0%
経常利益 経常利益 (%)	2,162	5,238 4.6%	1,817	5,300 4.6%	▲345	+62	5,300	±0.0%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	1,467	3,326	1,188	3,550	▲279	+224	3,550	±0.0%

セグメント別業績予想

(百万円)	22年3月期 実績		23年3月期 予想		増減		当初予想 (2022.4.26公表)	当初予想 (%)
	上期	通期	上期	通期	上期	通期		
売上高	50,276	113,997	54,575	115,000	+4,299	+1,003	115,000	±0.0%
重仮設事業	45,815	104,519	48,754	103,000	+2,939	▲1,519	102,600	+0.4%
建設機械事業	6,615	13,686	6,925	14,500	+310	+814	14,700	▲1.4%
調整額	▲2,154	▲4,208	▲1,104	▲2,500	+1,050	+1,708	▲2,300	
経常利益	2,162	5,238	1,817	5,300	▲345	+62	5,300	±0.0%
重仮設事業	2,219	5,098	1,767	4,850	▲453	▲248	4,750	+2.1%
建設機械事業	128	346	202	600	+73	+254	700	▲14.3%
調整額	▲186	▲206	▲151	▲150	+34	+56	▲150	

重仮設事業

● 対前年度

在庫販売抑制施策および子会社取得に伴う一時的な費用増等により減収減益

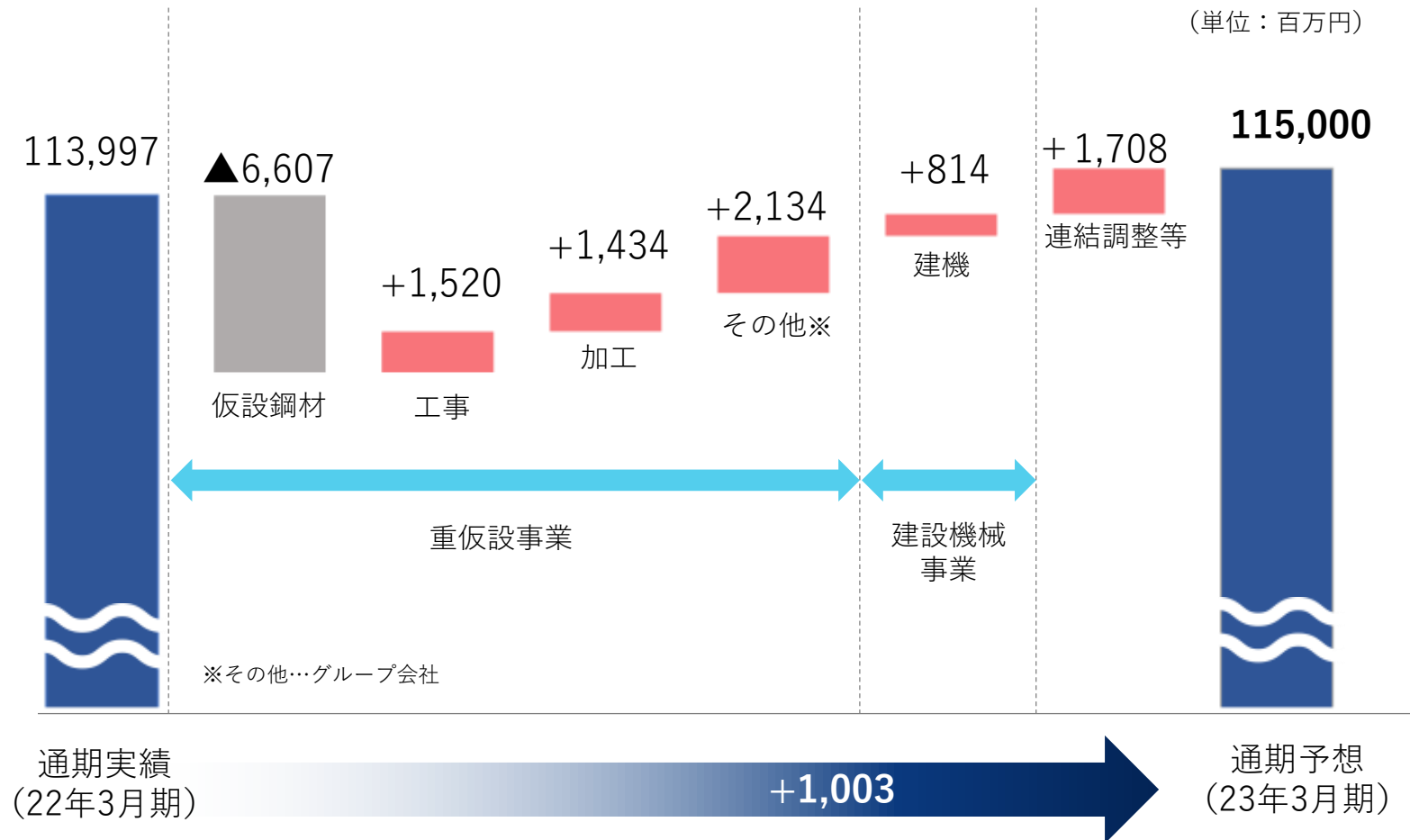
建設機械事業

● 対前年度

グループ連携による受注拡大、既存資産の再配置による適正化等により増収増益

連結売上高の増減予想（前年同期比）

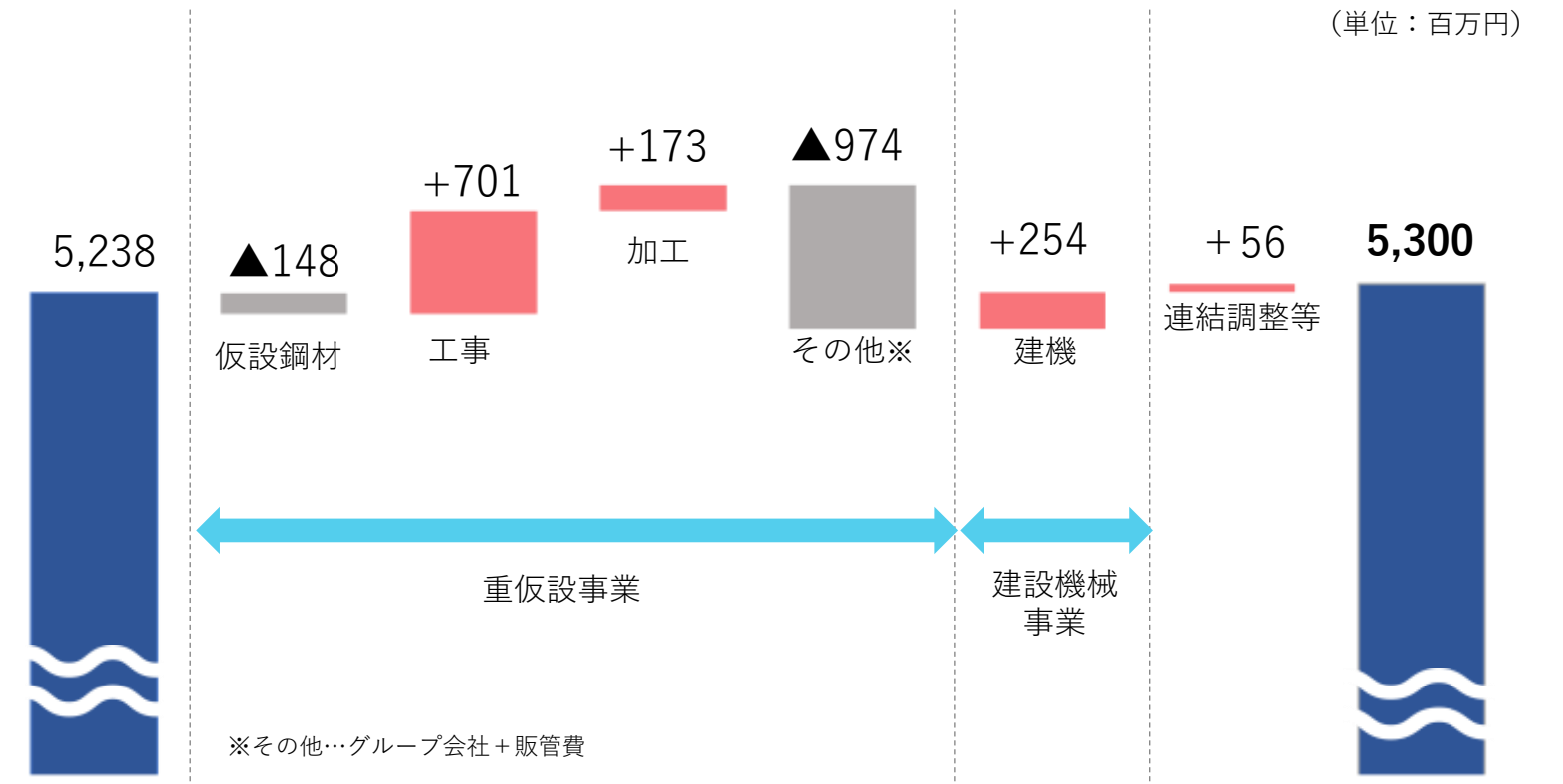
在庫販売抑制施策により仮設鋼材は減少するも、工事・加工・建機の受注拡大により増収を見込む



連結経常利益の増減予想（前年同期比）

工事・加工物件の下期本格化、建機子会社の統合効果により増益を見込む

（単位：百万円）



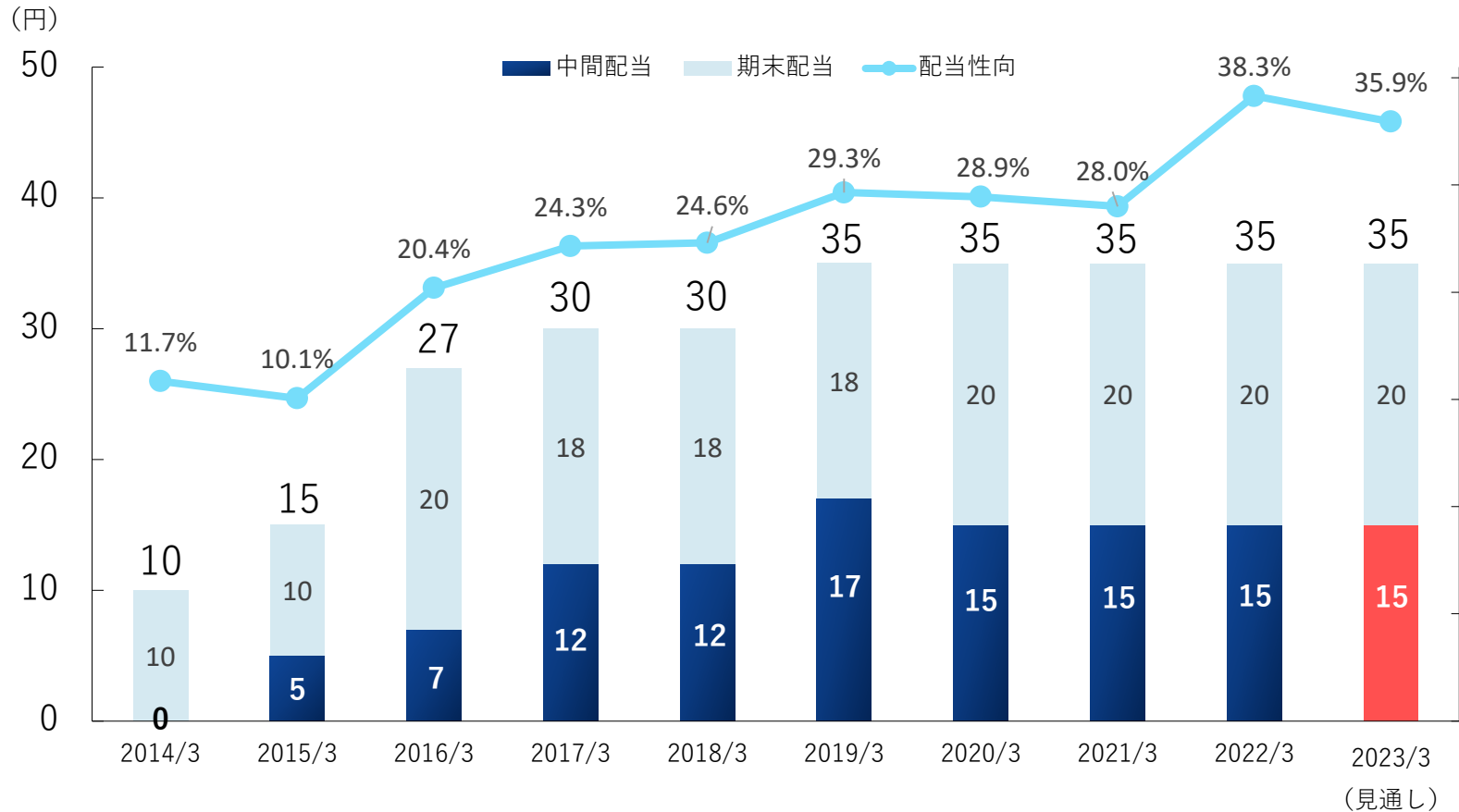
通期実績
(22年3月期)

+62

通期予想
(23年3月期)

株主還元

配当については、当初の配当公表案（中間15円・期末20円）
を据え置きとする



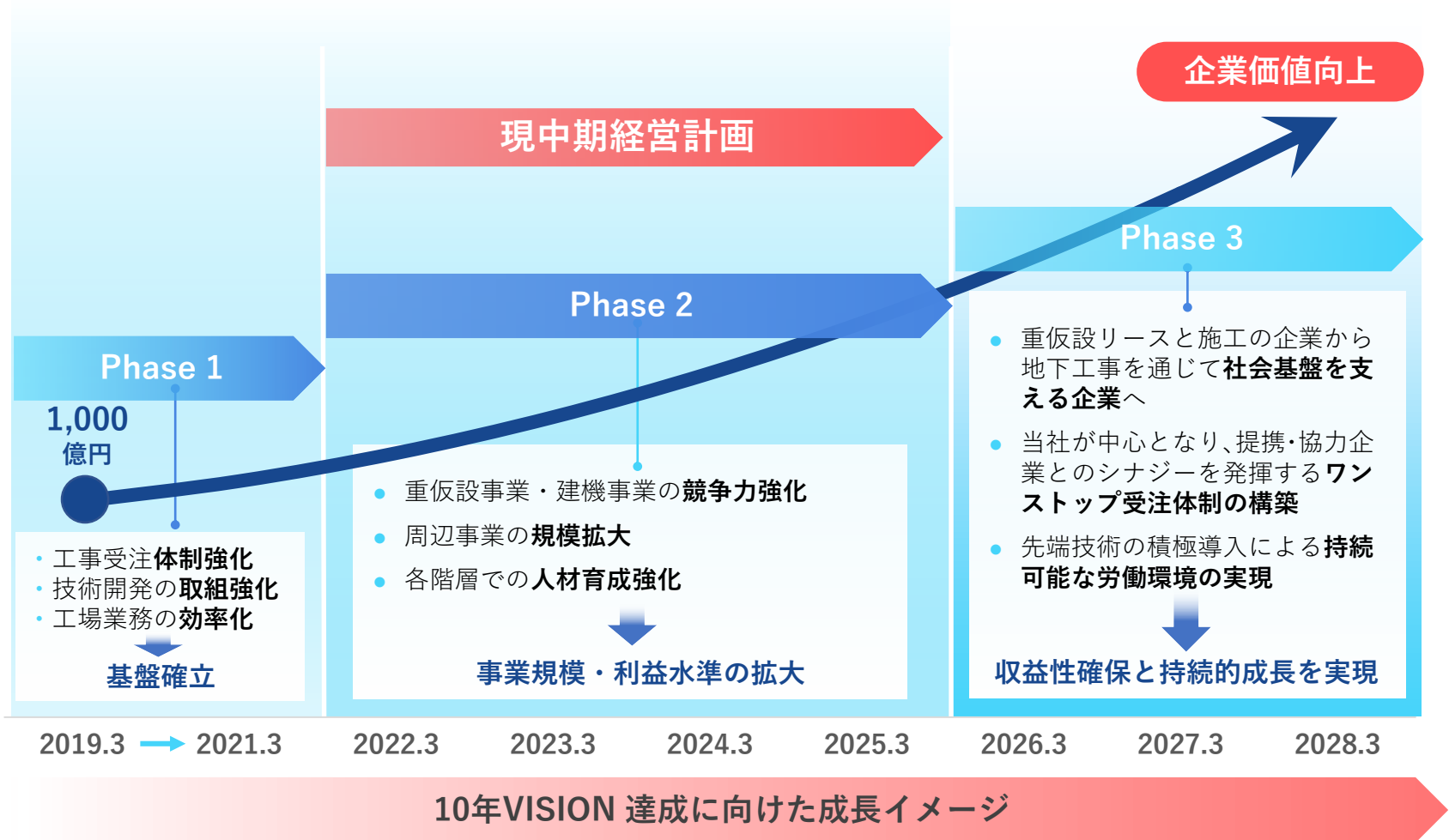
中期経営計画
配当性向 30%程度

3

中期経営計画の取り組み ～トピックス～

10年VISIONと中期経営計画

「安心、安全な社会の建設に貢献し働きがいの向上を追求する企業」へ



10年VISION達成にむけた取り組み

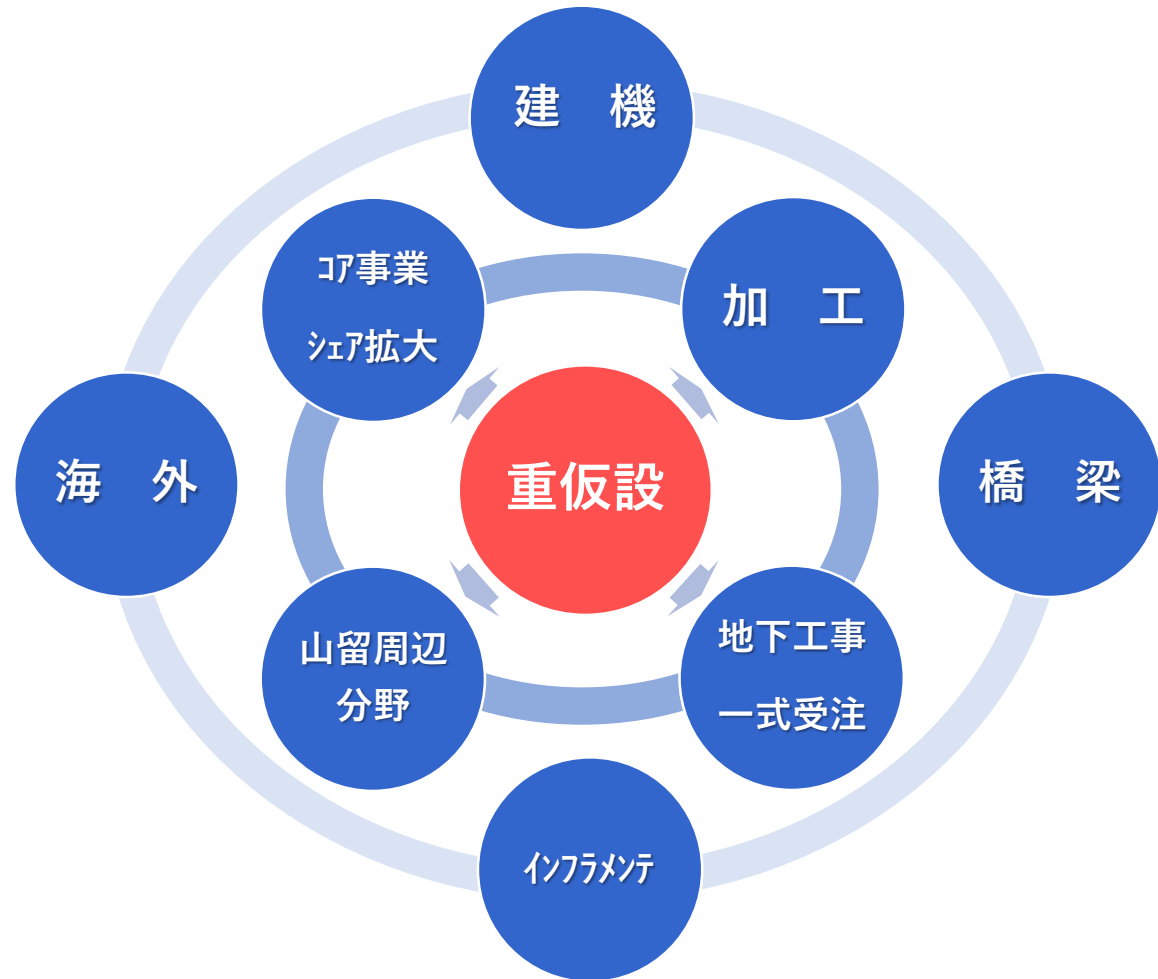
重仮設事業をコアに周辺事業を拡大し、収入源の多様化を図る

重点施策

成長分野に対応する
技術・工法開発

収入源多様化に寄与する
M & A 戦略

サステナビリティ課題
への取り組み



サステナビリティ課題への取り組みの基本方針

2022年6月23日開催の取締役会にて決議

ジェコスグループは、「誠実と信頼を第一として、力強い行動力とみずみずしい感性で未来に向かって挑戦し、活動領域の拡充とグループ力の強化を図り、関連する人々の幸福を確保する」との企業理念やジェコスグループ行動憲章を規範とし、「安心、安全な社会の建設への貢献」と「働きがいの向上の追求」を目指しています。

当社グループは、必要なガバナンス体制を構築し、上記企業活動を通して、特に下記事項に取り組むことにより、ステークホルダーへの社会的責任を果たし、持続可能な社会の発展に貢献します。

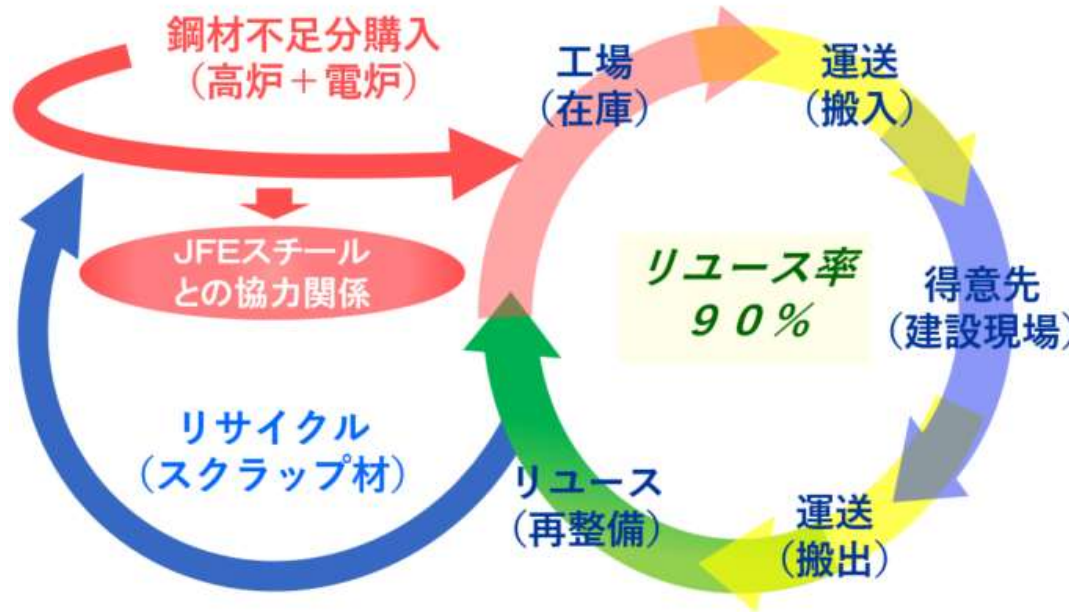
1. 鋼材のリユースを中心とした事業モデルを常に進展させ、資源循環型経済の実現に取り組む
2. サプライチェーン全体の温室効果ガスの排出削減に取り組む
3. 災害復旧に貢献するとともに、防災、減災、国土強靱化の実現に取り組む
4. 関係するすべての人の人権を尊重するとともに、その安全と健康の確保に取り組む
5. 従業員の働きがいの向上と、多様な人材の活躍の場の提供に取り組む
6. 社会との協調を図り、積極的に社会貢献活動に取り組む

グループ環境部会の設置

「サステナビリティ課題への取り組みの基本方針」に則り、資源循環型経済の実現および、温室効果ガス（GHG）排出削減へ向けて、CSR推進委員会に「グループ環境部会」を新設し、削減目標を定め来年度中にTCFDの提言に沿った情報開示を行う

2022年度	2023年4月（予定）	2023年度内
GHG排出量算定	排出量削減目標公表	TCFDに沿った情報開示

鋼材のリユースを中心としたビジネスモデルイメージ



【削減方針と施策一例】

○工場(在庫)

- ・電動化
- ・機械化
- ・自動化
- ・省電力化
- ・照明のLED化
- ・新技術によるリユース率UP
- ・太陽光パネル

○建設現場

- ・鋼材レス
- ・セメントレス
- ・産廃レス
- ・施工省力化
- ・低炭素建材
- ・低炭素工法
- ・急速施工技術

○運送

- ・電動化
- ・効率化
- ・アルミ台車導入
- ・効率配車＝台数削減(AI)

○電源の再エネ化

○カーボンクレジットの活用

「人的資本」の情報開示

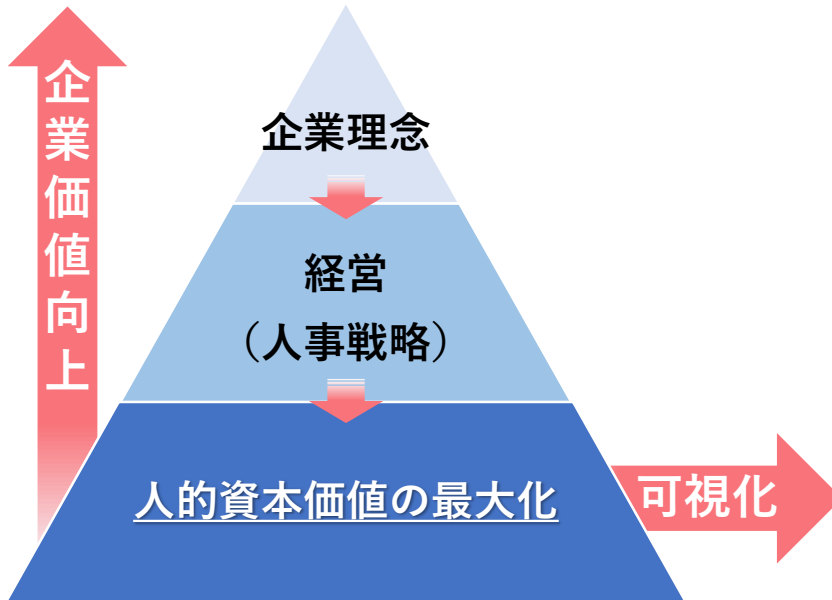


《開示項目》



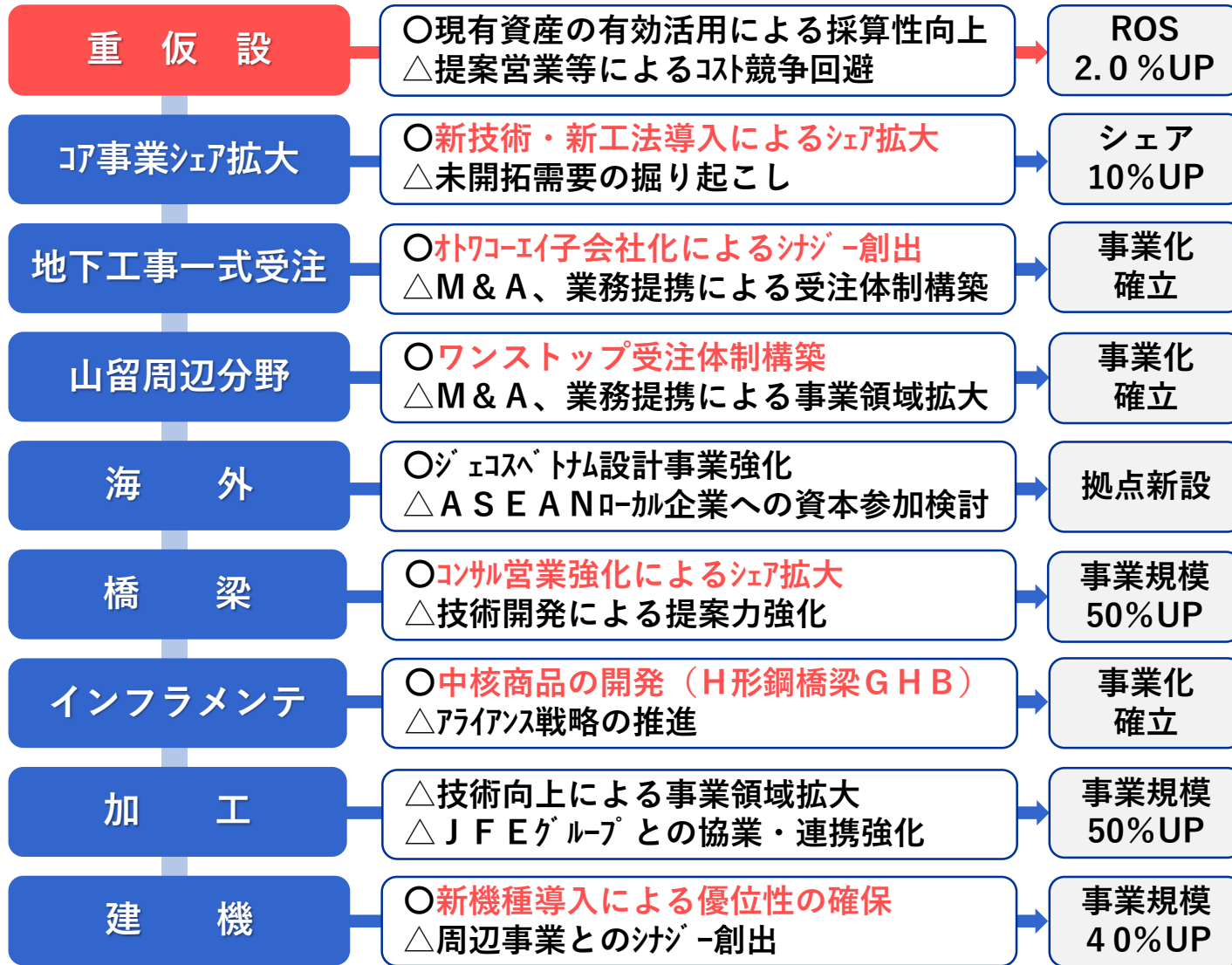
人的資本データ開示項目

① 人材 社員数、社員数（年齢別） 平均年齢 派遣、パート社員数 平均年収	④ 健康・安全 ストレスチェック実施率 定期健康診断受診率 二次検査受診率
② 雇用の流動性 新卒採用者数 中途採用者数 離職率 自己都合、新卒3年以内 平均勤続年数	⑤ ワークライフバランス 1人あたり年間平均時間外 平均年休取得日数 平均年休取得率 育児休業取得者数 育児のための短時間勤務 取得者数
③ ダイバーシティ 女性管理職比率 女性役職者比率 役職者数（中途入社） 定年退職者再雇用数 障がい者雇用数 障がい者雇用率	開示データは APPENDIXに記載



価値向上とリスクマネジメントの観点より人的資本への投資に注力し、人的資本価値を最大化し中長期的な企業価値向上につなげる

中期経営計画達成にむけた事業別の取り組み

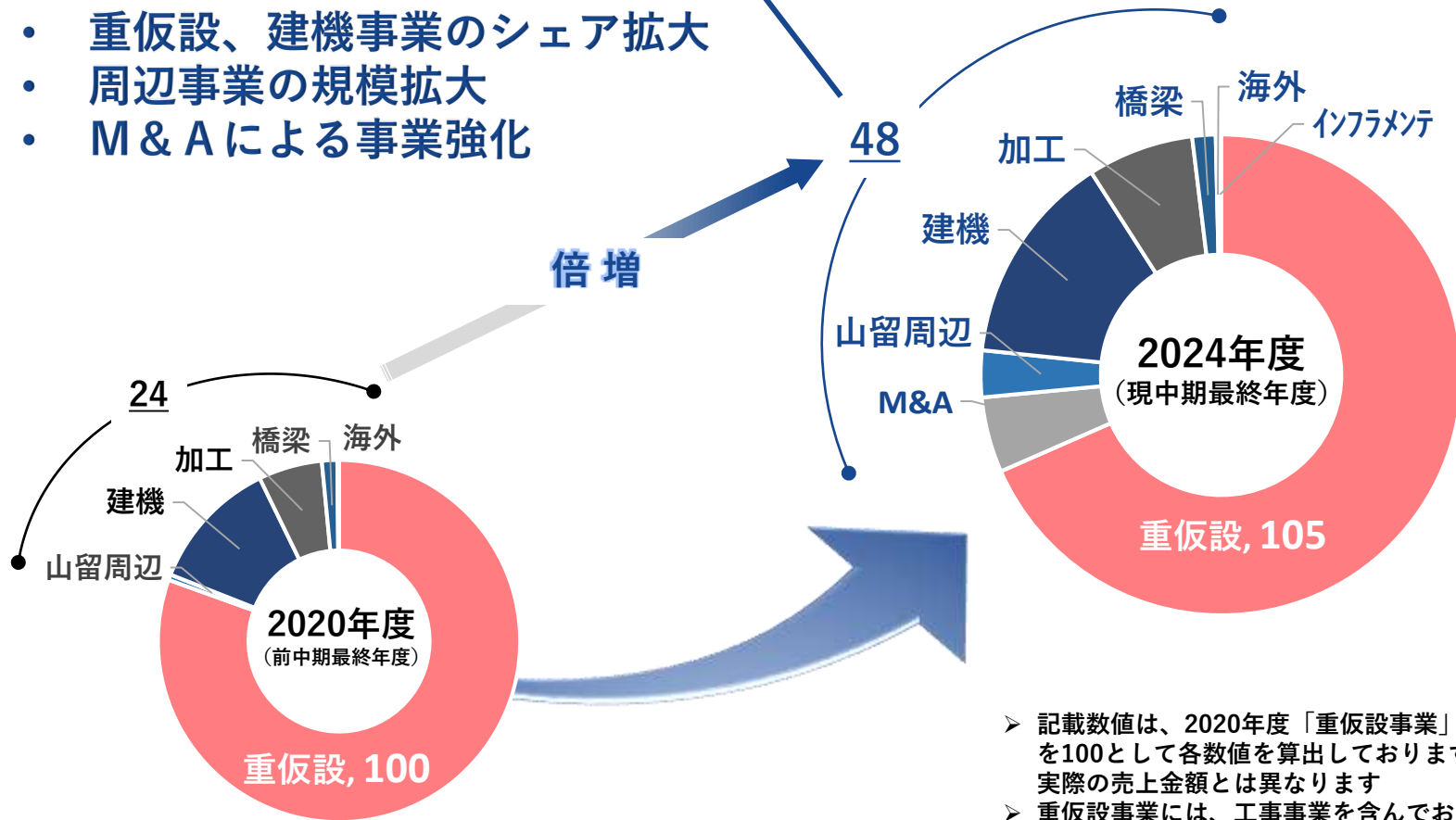


○印：成果あり
△印：着手中
赤字：トピックス

中期経営計画最終年度の事業構成

事業ポートフォリオの変革

- ・ 重仮設、建機事業のシェア拡大
- ・ 周辺事業の規模拡大
- ・ M & Aによる事業強化



- 記載数値は、2020年度「重仮設事業」の売上を100として各数値を算出しておりますので、実際の売上金額とは異なります
- 重仮設事業には、工事事業を含んでおります

工期短縮、セメントレス、残土レスによる生産性向上とCO2排出量削減を実現

LRB16 (バイブロ併用圧入工法)



H形鋼チャッキング

高出力バイブロ

H形鋼



バイブロ圧入



<工程比較>

LRB	チャッキング	圧入	工期短縮 30~50%削減
従来工法	削孔	注入	建込

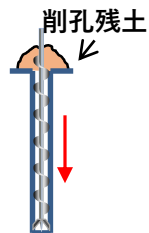
オーガ - 削孔無し ⇒ 無排土・工期短縮
セメントミルク不使用 ⇒ CO2削減

現場環境に合わせ、最適工法を選択

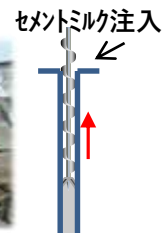
従来工法 (プレボーリング工法)



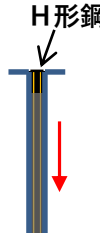
オーガ削孔



セメントミルク注入



H形鋼建込





オトワコーエイとの協業

ジェコス

- ・ オトワ施工現場の材料取込み
- ・ オトワ独自技術を活用した土木工事拡販

都市建築と
全国販売
ネットワーク

協業
領域

多種多様な
技術と山岳
土木施工実績

オトワコーエイ

- ・ 都市建築施工への進出
- ・ ジェコス販売網を活用した広域展開

営業情報共有による相互拡販

電力会社へのPR活動



—送電線鉄塔基礎工事—
山岳地域の**困難な施工条件**に対応

オトワ独自技術の提案



—小型杭打機『OTO掘削機』—
3.0 t 未満に分割可能なパーツ構成
様々な**施工条件**に対応

狭小地の地中障害撤去



—狭小建築工事に対応—
在来機種では対応が困難な
狭小地施工が可能

周辺分野を含むワンストップ受注体制の構築



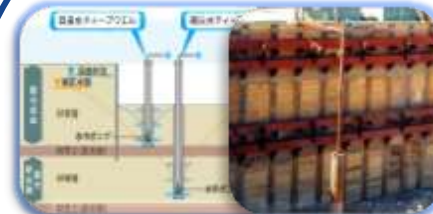
基礎杭工事



JFE-Gr商品の取込み
回転杭 (つばさ杭)

JFE-Gr
保有技術

地下水処理



排水処理を含む山留提案
ディープウェル・ウェルポイント

得意先負荷軽減
-省力化へ貢献-

重仮設

一物件あたり
収益の最大化

計測管理



山留壁の品質管理向上
傾斜計・ひずみ計

地下工事
一式受注

地盤改良



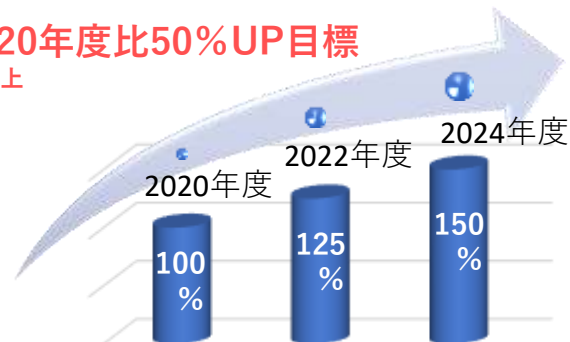
地盤改良を含む山留提案
高圧噴射・薬液注入他



スペックイン活動強化

2020年度比50%UP目標

※売上



JFE-Gr合同説明会等を実施しシェア拡大

大型物件の受注増加



総延長160m：両築橋工事用栈橋（福岡県）

事業規模拡大

保有技術積極提案

大型クレーン対応**PABRIS-HG**を提案



末吉橋迂回路栈橋（神奈川県）

積極的設備投資

大型クレーン対応商品の拡充

従来	150tCC対応	200tCC対応
標準型対傾構	高剛性対傾構	PABRIS-HG
		

保有数量 **20%UP**

インフラメンテナンス事業の取り組み

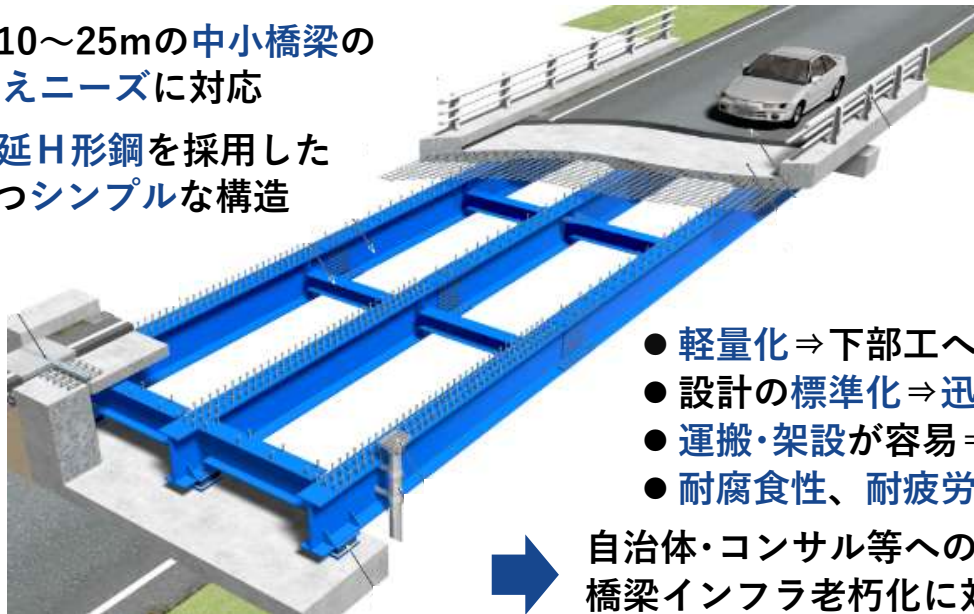


【橋梁インフラメンテナンス事業】

- 国内約70万ある道路橋のうち、2028年には約半数が建設後50年を経過（老朽化）。その約7割が地方自治体管理の中小橋梁
- 当社はここをターゲットに、点検・調査から補修・架け替えに至る「橋梁メンテナンスのワンストップ対応」の事業基盤を構築中（製作・施工、点検、建機を含めた既存リソースの有効活用）
- 同分野への事業領域拡大は10年VISIONの事業運営方針の一つ

【H形鋼橋梁GHB®】 当社初の本設橋梁 = 中核商品

- 支間長10～25mの中小橋梁の架け替えニーズに対応
- 大型圧延H形鋼を採用した軽量かつシンプルな構造



- 軽量化 ⇒ 下部工への負担軽減、耐震性向上(対PC橋)
- 設計の標準化 ⇒ 迅速な設計対応、工期・コスト縮減
- 運搬・架設が容易 ⇒ 現場工期の短縮
- 耐腐食性、耐疲労性、点検作業性に配慮した構造

➡ 自治体・コンサル等への営業活動本格化（下期～）
橋梁インフラ老朽化に対する顧客ニーズに対応

遠隔施工重機『BROKK®』導入



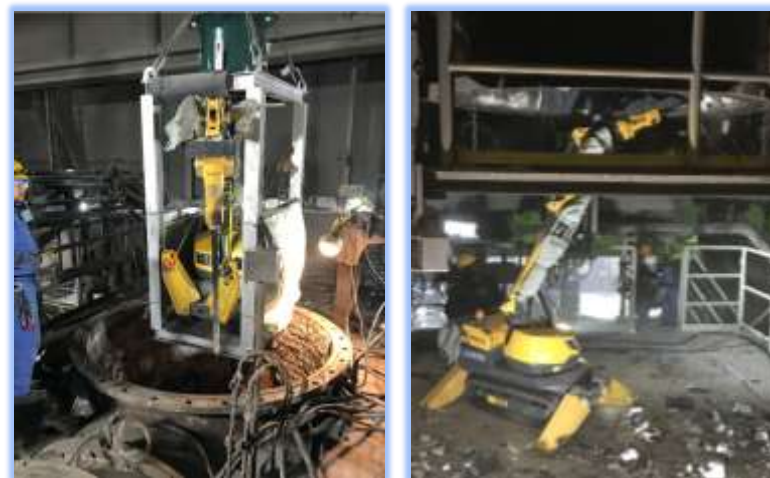
旺盛な需要へ対応

水力発電所導水路トンネル、老朽水路、製鉄所等のレンタル実績と引き合い増加に応え、9月にBROKK70、BROKK120Dを1台ずつ増車。4台レンタル体制で、遠隔施工重機の浸透を図る



使用実績

製鉄所の炉内耐火物解体作業等でBROKK70をレンタル受注。炉内ゴンドラ上での人手での手ばつり作業をBROKKで機械化、炉内危険箇所での無人化を実現し、安全作業環境構築に貢献

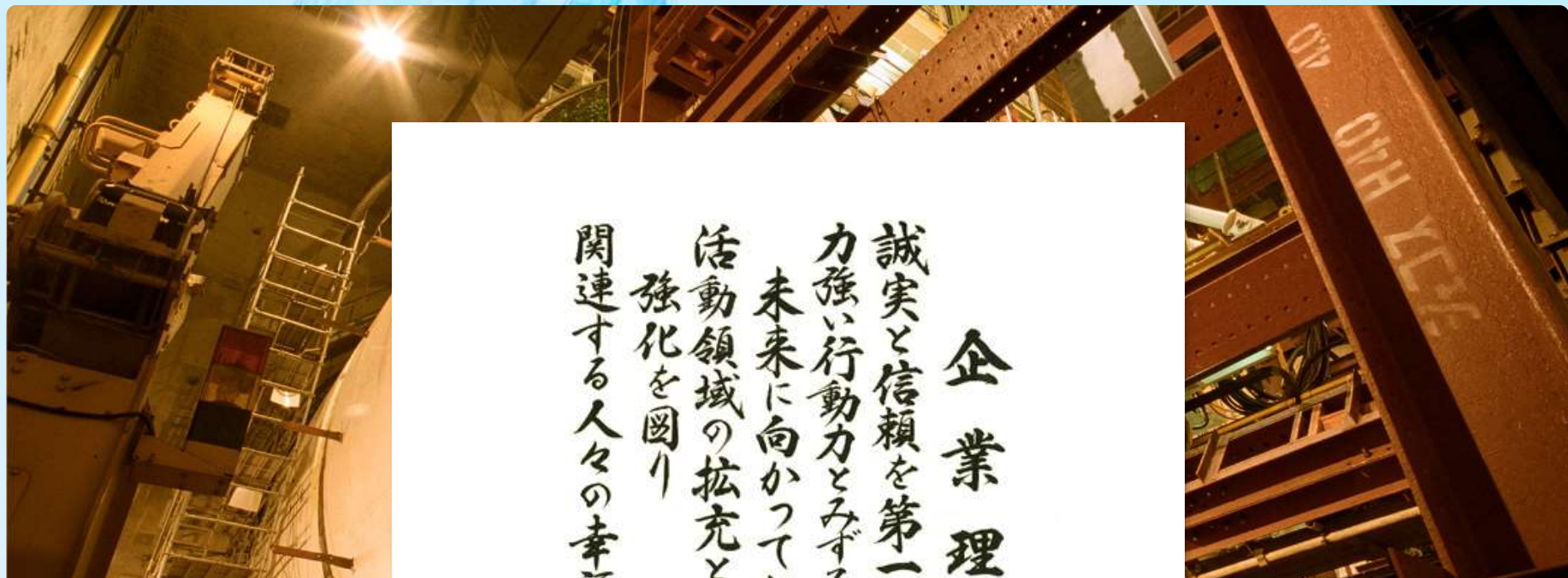


APPENDIX

ジェコスグループについて

会社概要

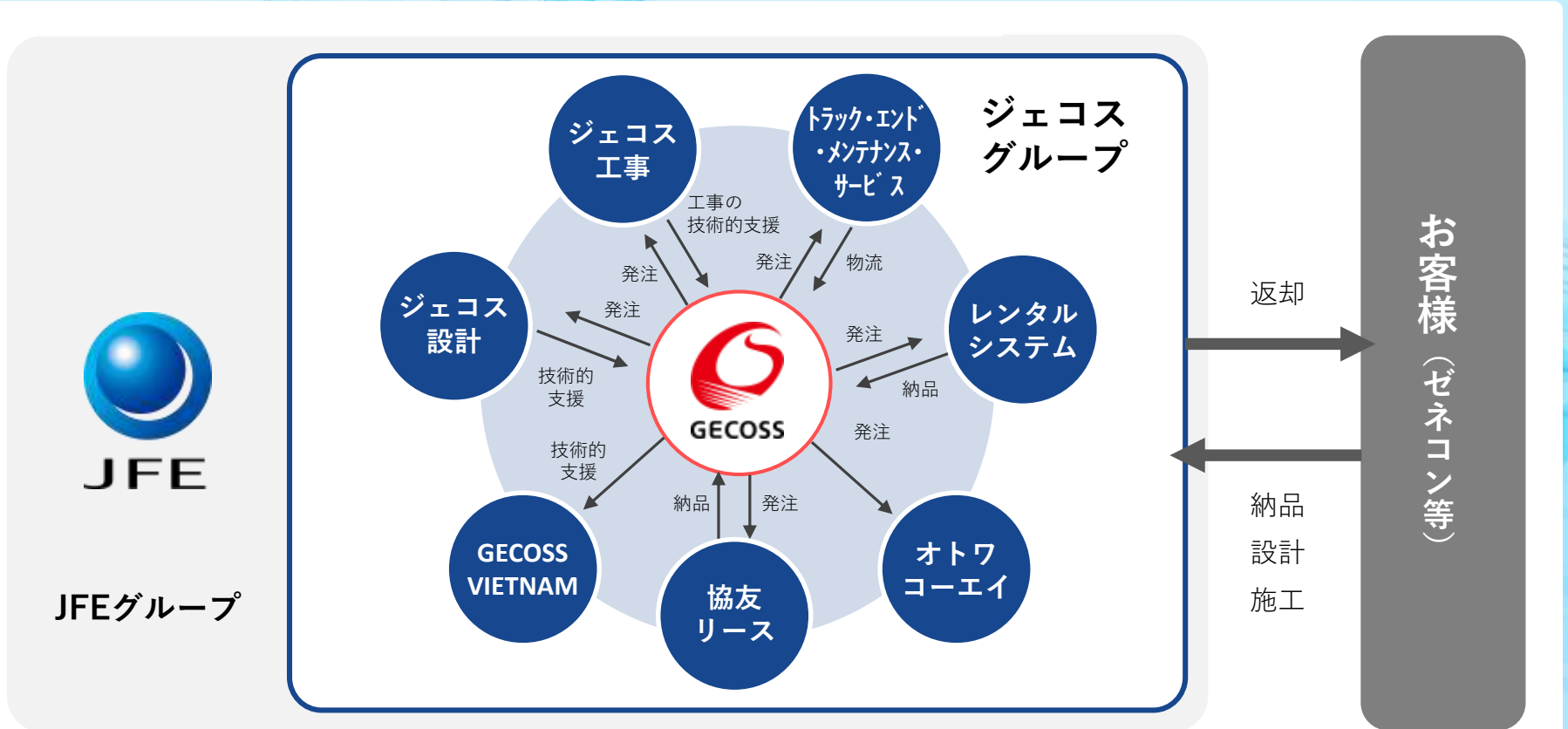
会 社 名	ジェコス株式会社 (GECOSS CORPORATION)
本 社 所 在 地	東京都中央区日本橋浜町2-31-1(浜町センタービル)
設 立 年 月 日	1968年6月20日
資 本 金	43億9,750万円
発 行 済 株 式 総 数	36,436,125株
決 算 期	3月31日
代 表 者	野房喜幸
従 業 員 数	738名、連結1,284名 (2022年3月末現在)
連 結 子 会 社 数	6社 (ほか関連会社2社)
上 場 証 券 取 引 所	東証プライム (証券コード: 9991)
建 設 業 登 録	<ul style="list-style-type: none">国土交通大臣 許可(特-4)第6931号 2022年5月18日許可 土木工事業、建築工事業、鋼構造物工事業国土交通大臣 許可(般-4)第6931号 2022年5月18日許可 とび・土工工事業
親 会 社	<ul style="list-style-type: none">JFEホールディングス株式会社JFEスチール株式会社



企業理念

誠実と信頼を第一として
力強い行動力とみずみずしい感性で
未来に向かって挑戦し
活動領域の拡充とグループ力の
強化を図り
関連する人々の幸福を確保する。

ジェコスグループの概要



レンタルシステム	建設機械の賃貸
トラック・エンド・メンテナンス・サービス	運送業
ジェコス設計	設計およびコンサルティング業
ジェコス工事	仮設工事の安全施工に関する技術的支援等

オトワコーエイ	専門基礎工事等
GECOSS VIETNAM	建設仮設材の設計・販売等
協友リース	H型鋼桁材等の賃貸

全国に広がる拠点

全国に事業所と工場を展開し、幅広いネットワークを構築
日本全国の建設・土木現場に対応



本社



東京工場

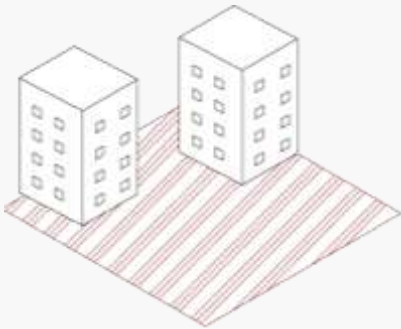


長沼工場

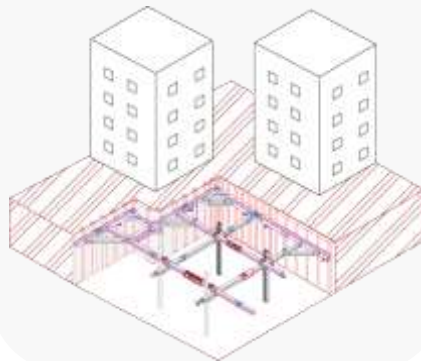
重仮設工事とは

建造物の基礎となる地下部分を構築するため、土圧や湧水などを食い止める山留工事を指す。当社は山留工事に必要な重仮設材や技術・工事を提供

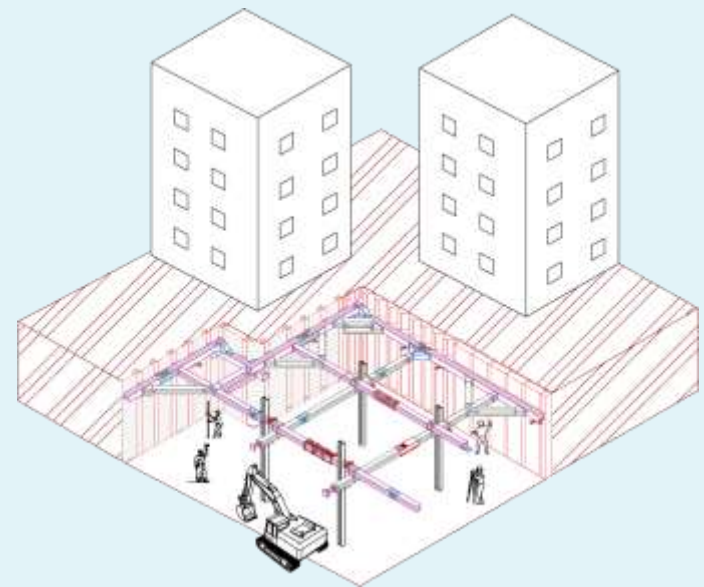
さら地



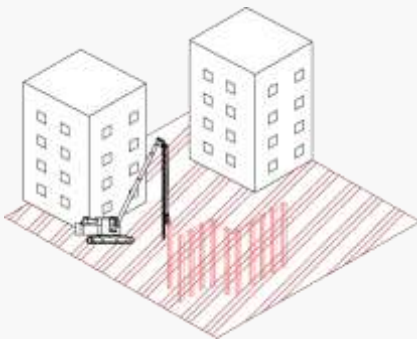
支保工仮設



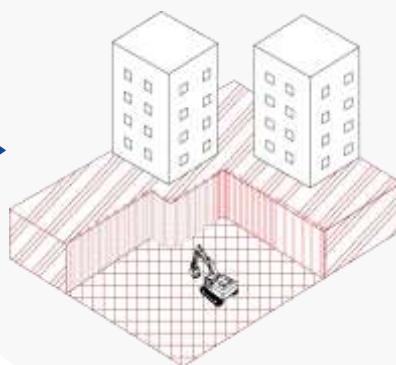
安全な作業空間



山留め杭打ち込み



掘削



事業セグメント：重仮設事業

建設仮設材の賃貸・販売

業界トップクラスの品ぞろえと保有量により建設現場のニーズに迅速に対応。Ecoラム®工法等による作業環境改善や工期短縮など、新たな製品も開発



H形鋼



鋼矢板



覆工板



敷鉄板



山留材



Ecoラム®工法

仮設工事の請負

山留や構台の架設・解体工事、杭打・引抜工事、障害撤去工事などの仮設工事の設計施工において豊富な実績。地下工事一式受注、新技術・新工法の開発にも積極的に取り組む



ソイルセメント柱列式連続壁工法



アポロン工法



サイレントパイラー工法



全旋回オールケーシング工法



BG工法



各種仮設解体工事

加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

当社の加工工場である長沼工場・大阪工場と全国の提携工場により、高品質の鋼製加工製品を提供。また、全国各地の橋梁関連の老朽インフラ・メンテナンス需要にも幅広く対応



仮設橋梁



駅舎プラットフォーム



階段



シールド架台



道路橋



落橋防止金物

事業セグメント：建設機械事業

建設機械の賃貸

建設現場で使用される高所作業車や発電機に加え、地下工事、インフラメンテナンス事業への領域拡大に対応した機種を随時拡充



高所作業車



バックホー



発電機



施工ロボット



レンタカー



仮設ハウス



軽仮設

社名の由来と新たなミッション

GECOSSの由来

GENERAL
CONSTRUCTION
SUPPORT
SYSTEM

当社の主要な営業展開先である建設業を、
総合的にサポートする体系を表現したもの

10年VISIONに基づく
新たなミッション

GROWING
ENTERPRISE
CONTRIBUTING
SAFE
SOCIETY

安全な社会に貢献する（成長）企業へ

培ってきた強み

営業、技術、現場の
三位一体で強みを発揮



会社を誇れる人材

安心・安全／法令遵守を
最優先する風土

中期経営計画

中期経営計画達成に向け、今年度は収益基盤の足場固めに注力し、需要回復期に備える

		22年3月期 実績	23年3月期 予想	中期経営計画 25年3月期
収益目標	売上高	1,140億円	1,150億円	1,400億円
	経常利益	52.4億円	53億円	100億円
	ROS	4.6%	4.6%	7%
財務目標	ROE	5.7%	5.9%	10%程度
	自己資本比率	55.2%	56%程度	60%程度
	D/Eレシオ	3.6%	3.4%	実質無借金継続
配当性向		38.3%	35.9%	30%程度

中期経営計画の重点施策

1

重仮設事業の
コスト競争力向上と
シェア拡大

4

建機事業の収益力向上

2

加工事業の規模拡大

5

海外展開における
事業モデル再構築

3

地下工事一式受注、
仮設橋梁事業、
インフラメンテナンス
事業の成長加速

6

ICT推進、人材育成

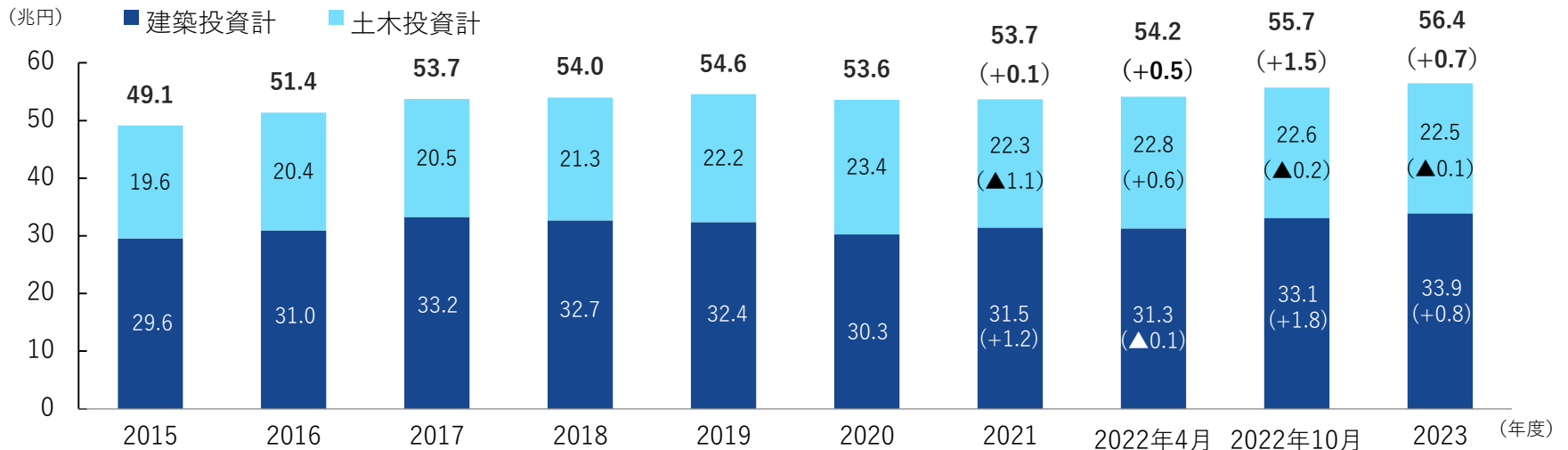
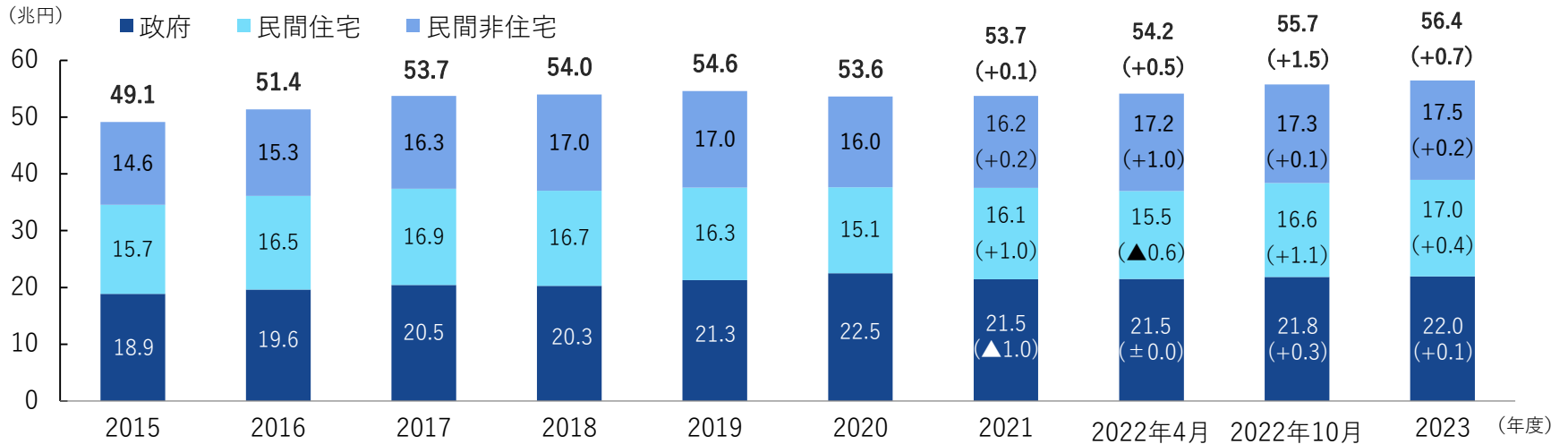
APPENDIX

データ集

当社事業に関連する指標

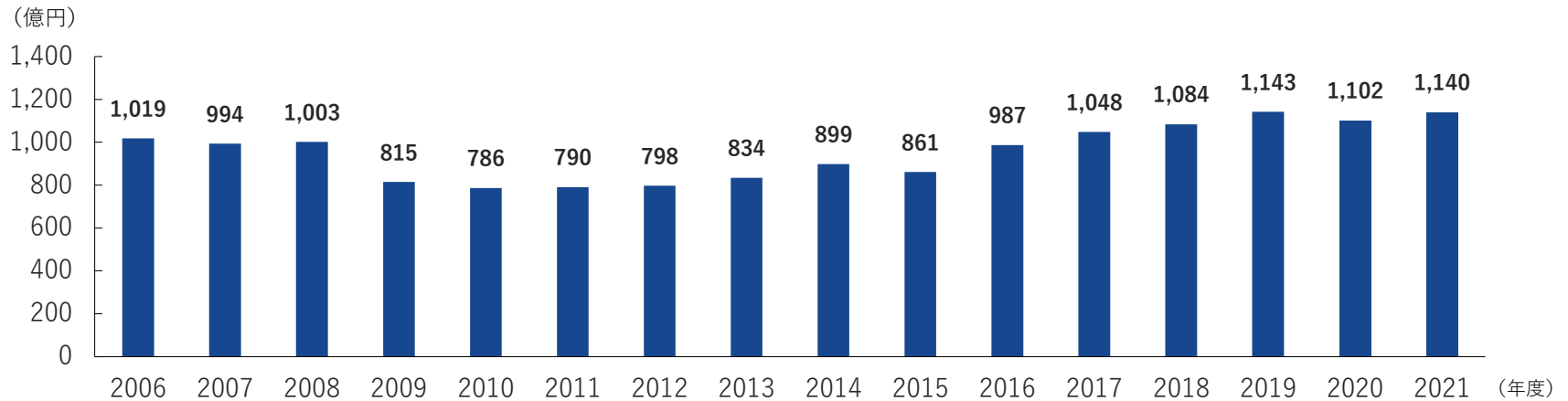
建設投資額（名目値）の推移

※建設経済研究所 2022年10月7日
 ※建築推移（改装・改修）統計額を除く
 ※2021年度、2022年度、2023年度は見通し

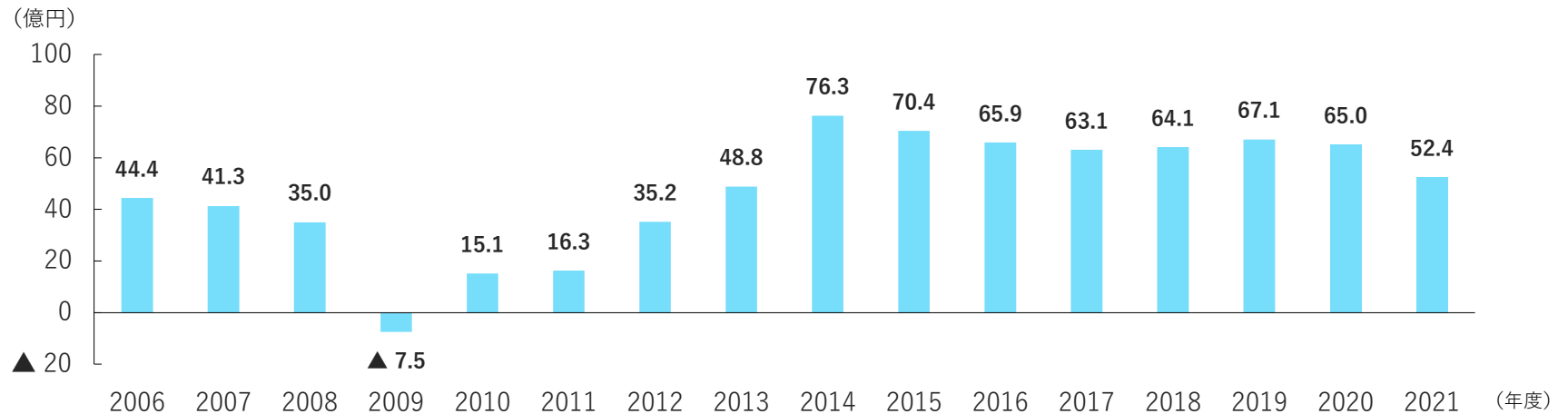


業績推移

売上高 連結



経常利益 連結

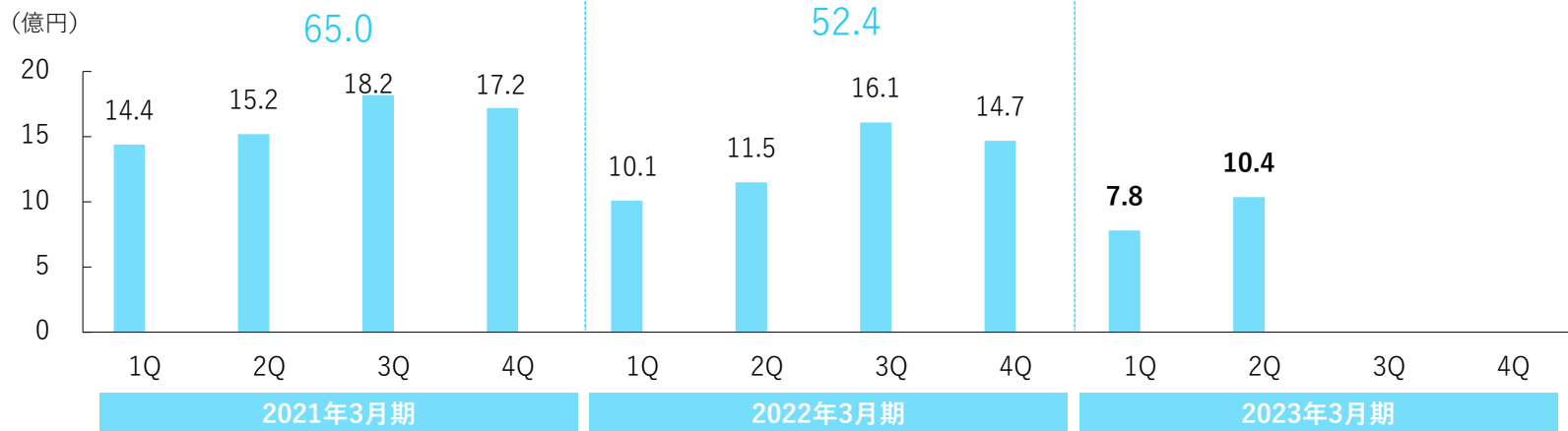


四半期業績推移

売上高 連結



経常利益 連結



人的資本開示データ

1. 人材

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	中期計画 (2024)
社員数※1	人	682	731	738	754	738	-
男性	%	72.6%	72.8%	72.9%	73.1%	73.2%	-
女性	%	27.4%	27.2%	27.1%	26.9%	26.9%	-
社員数（年齢別）	人	682	731	738	754	738	-
29歳以下	%	7.0%	10.7%	14.2%	20.3%	19.0%	-
30～39歳	%	23.6%	23.1%	21.7%	21.6%	20.6%	-
40～49歳	%	27.4%	26.4%	26.2%	27.2%	26.0%	-
50～59歳	%	28.2%	27.8%	27.4%	23.1%	26.7%	-
60歳以上	%	13.8%	12.0%	10.6%	7.8%	7.7%	-
平均年齢	歳	42.0	42.1	42.1	42.3	42.6	-
男性	歳	43.3	43.5	43.4	43.5	43.6	-
女性	歳	38.6	38.2	38.6	39.2	39.7	-
派遣、パート社員数	人	41	39	47	37	37	-
平均年収※1	千円	7,026	6,938	7,029	7,094	7,365	-

2. 雇用の流動性

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	中期計画 (2024)
新卒採用者数	人	24	31	32	29	24	35
男性	人	16	20	25	22	18	-
女性	人	8	11	7	7	6	-
中途採用者数	人	8	10	11	4	2	-
男性	人	8	10	11	4	2	-
女性	人	0	0	0	0	0	-
離職率	%	3.3%	2.9%	4.0%	3.2%	4.3%	3.0%
離職率（自己都合）	%	2.8%	1.8%	3.1%	2.0%	2.3%	1.5%
離職率（新卒3年以内）	%	25.4%	19.8%	14.8%	9.8%	8.2%	7.0%
平均勤続年数	年	16.6	16.0	16.4	16.3	16.9	-
男性	年	17.3	16.8	17.1	17	17.4	-
女性	年	14.5	13.9	14.3	14.5	15.3	-

3. ダイバーシティ

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	中期計画 (2024)
女性管理職者比率※2	%	7.3%	8.1%	9.7%	9.7%	10.5%	15.0%
女性役職者比率※3	%	2.9%	2.8%	3.4%	3.4%	2.5%	6.0%
役職者比率（中途入社）	%	19.2%	19.3%	17.9%	17.8%	18.6%	-
定年退職者再雇用数	人	8	15	13	7	3	-
再雇用率	%	80.0%	88.2%	86.7%	87.5%	50.0%	-
女性再雇用率	%	50.0%	0.0%	-	66.7%	-	-
障がい者雇用数※4	人	13	13	15	14	15	-
障がい者雇用率	%	1.86%	1.82%	1.95%	1.80%	1.94%	2.5%

4. 健康・安全

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	中期計画 (2024)
ストレスチェック実施率	%	92.0%	93.0%	95.0%	98.0%	97.0%	-
定期健康診断受診率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
二次検査受診率		統計無し	統計無し	31.9%	42.6%	集中中	50.0%

5. ワークライフバランス

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	中期計画 (2024)
1人あたり年間平均時間外※5	時間	29.7	28.7	26.1	25	29.1	25.0
平均年休取得日数	日	8.5	9.0	12.1	13.6	13.3	-
平均年休取得率	%	43.7%	46.1%	63.5%	68.1%	69.9%	70.0%
育児休業取得者数	人	9	6	6	6	5	-
男性	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
育児のための短時間勤務取得者数	人	20	24	33	28	32	-

※1：有価証券報告書記載（基準日：3月31日）

※2：課長代理以上

※3：役職（部長、支店長、工場長、グループ長、所長、センター長）

※4：等級に応じてカウント

※5：36協定対象者

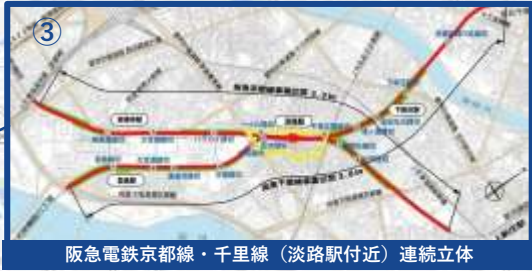
展示会出展

当社保有技術・商品を展示会に出展し、広くPR

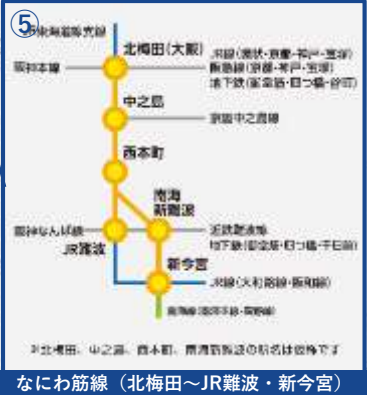
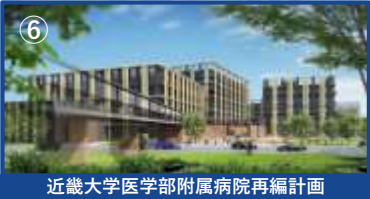
出展予定技術 (商品名)	展示会名					
	E E 東北'22	下水道展	九州都市開発・ 建設総合展	建設技術フェア in中部	建設技術展 近畿	建設技術展 関東
	6月1～2日	8月2～5日	9月28～29日	10月4～5日	11月9～10日	11月16～17日
ジェコスロック	●	●	●	●	●	●
Ecoラム工法	●	●	●	●	●	●
仮設橋梁PABRIS	●		●	●	●	●
モバイルブリッジ	●		●	●	●	
鋼製加工製品	●	●	●	●	●	●
H形鋼橋梁GHB				●	●	●
BROKK	●	●	●	●	●	●
LRB16						●



下期に予定する関西圏主要案件



大阪・関西万博PW・GW工事業



- 【イメージ引用元】
- ①2022年8月8日付けプレスリリース
 - ②2020年7月25日付け阪大病院NEWS
 - ③大阪市HP
 - ④2020年3月25日付けプレスリリース
 - ⑤関西高速鉄道(株)HP
 - ⑥2020年10月1日付けプレスリリース

ディスクレーマー

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。